

和歌山県教育功労者・優秀教職員知事感謝状受賞者

《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に携わり献身的活動を続け、その功績が特に顕著である学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に感謝状を贈呈する。

こにし のり こ
小西 則 子

和歌山市立直川小学校 他4校 学校医

《主な功績》 昭和61年から現在まで学校医として、定期健康診断や学校保健会に従事し、児童生徒の健康管理に尽力した。また、和歌山市医師会学校医部会評議員として、学校医部会の運営に努めるなど、和歌山市の学校保健並びに児童生徒の健康管理の向上に貢献した功績は多大である。

おき どの まさ とも
沖 殿 正 知

和歌山市立河西中学校 学校歯科医

《主な功績》 昭和58年から現在まで学校歯科医として、深い理解と情熱をもって健康診断等に努め、学校教育の根幹をなす健康教育の推進に尽力した。また、学校保健会の講演会等に積極的に参加し、学校歯科医として日々研鑽するなど、学校保健教育の向上に貢献した功績は多大である。

え かわ まさ かず
江 川 正 一

有田市立保田中学校 学校医

《主な功績》 平成4年から現在まで学校医として、学校保健の充実に熱意を持ち、常に児童生徒の健康管理に努め、積極的に検診や指導助言を行い、学校保健の充実に尽力した。また、研修会で講演を実施するなど、学校保健教育の進展に貢献した功績は多大である。

おお なか しげ とし
大 中 重 俊

有田市立港小学校 学校歯科医

《主な功績》 昭和61年から現在まで学校歯科医として、学校保健の充実に熱意をもって、学校への指導助言や児童の口腔内状態などの健康管理に努めた。また、虫歯予防や口腔衛生教育にも積極的に取り組み、学校保健教育の進展に大きく貢献した功績は多大である。

ひら こし こう へい
平 越 孝 平

九度山町立九度山中学校 他1校 学校薬剤師

《主な功績》 平成3年から現在まで学校薬剤師として、児童生徒の健康保持や衛生管理のため、養護教諭等に積極的に指導助言を行い、学校保健等に関わる教育の推進に尽力した。また、学校の飲料水やプールの水質検査の結果に基づいた的確な指導助言を行い、安心・安全な学校運営に寄与するなど、学校保健の充実に尽力した功績は多大である。

よし むら けん
吉 村 研

和歌山県立耐久高等学校 学校医

《主な功績》 地域に根ざした開業医として、湯浅町の健康医療の推進に尽力するだけでなく、平成4年から学校医として、生徒の健康管理と健康教育の推進に貢献した。また、学校の安全衛生管理委員会の一員として、養護教諭への適切な助言や教職員の健康相談を行うなど、学校保健の充実に貢献した功績は多大である。

もり した つね かず
森 下 常 一

和歌山県立たちばな支援学校 学校医

《主な功績》 平成4年から現在まで学校医として、児童生徒の健康診断を通して、子供の健康安全について適切な指導助言に尽力した。また、肢体不自由児童生徒の車椅子や補装具の作製・修理及び校内における機能訓練について、教職員と連携を密にしながら適切な指導を行うなど、学校保健の充実に尽力した功績は多大である。

きた の まさ よ
北 野 雅 代

和歌山県立みはま支援学校 他4校 学校薬剤師

《主な功績》 平成6年から現在まで学校薬剤師として、学校保健活動に熱心に取り組み、児童生徒の生命を守り、健康の保持増進に努めるとともに、学校の環境衛生についての適切な助言や児童生徒の健康教育に尽力した。また、薬物乱用防止、感染症予防等に関する特設授業において、児童生徒への指導を行うなど、学校保健教育の充実に貢献した功績は多大である。

《社会教育部門》

長年にわたり、社会教育活動に携わり献身的活動を続け、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献した功績が特に顕著である方々に感謝状を贈呈する。

●個人の部

はやし
林

まさ みち
正 道

公益財団法人南葵育英会 評議員

《主な功績》 昭和59年から現在まで、南葵育英会の評議員、理事、理事長等の役職を歴任し、大学に進学する本県の学生に対する奨学事業を行うとともに、本県出身の学者や音楽家の活動を支援する研究助成金給付を行うなど、青少年育成や文化・学術の振興に寄与した。また、和歌山県出身者の社会での飛躍のため、現役奨学生への研修会の継続実施や学生寮運営を行うとともに、研究助成金事業の実施、奨学事業の継続、推進に尽力するなど、本県の青少年育成や文化・学術振興に貢献した功績は多大である。

やぶ
藪

ぞえ
添

やす
泰

ひろ
弘

和歌山県社会教育委員連絡協議会 理事

《主な功績》 平成16年から現在まで、和歌山県社会教育委員連絡協議会理事として、本県社会教育委員相互の連携及びその活動の充実に寄与するとともに、和歌山県社会教育委員会議議長、和歌山県立図書館協議会委員、きのくに共育コミュニティ推進協議部会副会長を務めるなど、本県の社会教育の発展に貢献した功績は多大である。

もり
森

いち
一

ろう
郎

一般社団法人和歌山県サッカー協会 参与

《主な功績》 平成元年から、和歌山県サッカー協会の常務理事や参与等の役職を歴任し、県内小学生以下の主要な大会を企画・運営するとともに、県内U-10の子供たちに対し、サッカー経験の有無を問わず、指導・普及活動の精力的な実施に尽力するなど、本県のサッカー競技の普及、発展及び競技力向上に貢献した功績は多大である。

や の
矢 野

つとむ
勉

和歌山県軟式野球連盟 監事

《主な功績》 橋本市少年野球協会会長、和歌山県軟式野球連盟伊都支部学童部副部長として、地元学童野球チームの育成・運営に尽力した。また、平成9年から現在まで、和歌山県軟式野球連盟の学童部長兼常任理事や監事の役職を歴任し、県下学童部のチーム・役員・審判員の総指揮をとるなど、児童生徒の健全育成及び本県の軟式野球競技の普及・発展に貢献した功績は多大である。

●団体の部

うえの ししまいほぞんかい
上野の獅子舞保存会

会長：湯川 剛 所在地：田辺市

《主な功績》 「上野の獅子舞」は、旧大塔村を代表する民俗芸能で、室町時代から田辺市下川下の上野地区に伝えられたといわれる貴重な文化財であり、昭和37年に和歌山県指定無形民俗文化財の指定を受けた。上野の獅子舞保存会は、獅子舞を長く伝承するために、旧大塔村の住民有志を中心に積極的に後継者育成を図るとともに、長年にわたり県内外の民俗芸能公演にも積極的に参加するなど、「上野の獅子舞」の保存・伝承に尽力し、本県の文化情報の発信や伝統文化の保護・普及に貢献した功績は多大である。

《優秀教職員》

長年にわたり、本県学校教育の振興に貢献し、その功績が特に顕著である教職員の方々に感謝状を贈呈する。

やま だ たく じ
山 田 卓 司

橋本市立城山小学校 校長

《主な功績》 「よい授業は、確かな学級経営が基盤となり、また、確かな授業がよい学級をつくっていく」という信念のもと、授業を大切にしながら、認め合い励まし合える学級集団を育ててきた。また、県教育委員会主催の研修会において講師を務め、一人一人を大切にした学級集団づくりや授業づくりについて指導助言するなど若手教員の育成にも尽力している。勤務校だけでなく、広く他校へ参考となる教育実践の普及に努めてきた功績は多大である。

はま べ ま き こ
浜 部 真木子

有田市立保田小学校 校長

《主な功績》 中学校英語科教諭から小学校勤務となり、中学校での経験を生かし、小学校外国語活動において、豊かな実践を重ね、英語をツールとするコミュニケーションを中心とした実践は、校内だけでなく市内の外国語活動研究の核となった。また、文部科学省主催「道徳教育推進協議会」において事例発表を行い、他県からの学校視察や道徳研究会における事例発表の依頼を受けるなど、研究成果の普及に努めてきた功績は多大である。

はま さき ひ で み
濱 崎 日出海

みなべ町立高城小学校 校長

《主な功績》 音楽科の分野において、児童にめあてと見通しをしっかりと意識させ、きめの細かい丁寧な指導とともに、音楽に対する感性を育てる授業づくりを実践してきた。また、研究の成果を広めるため、率先して模範授業を行うなど全教員の授業力の向上を図ってきた。所属校のみならず「歌声を1時間で変える」と題した訪問授業を行い、指導方法の伝授、教育実践の普及に努めてきた功績は多大である。

やま もと しげ こ
山 本 茂 子

和歌山市立東和中学校 教諭

《主な功績》 「生涯にわたって音楽を愛好する心を育てる」ことを目指して、音楽科における協同学習を効果的に取り入れ、生徒が主体的に学ぶ質の高い授業を実践している。また、平成24年度「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」における研究授業により、その成果を学校内外に発信し、学校全体で組織的に取り組む授業改善を推進している。和歌山県音楽教育連盟の理事長を務めるなど、県内の音楽教育の充実に尽力してきた功績は多大である。

にほんまつ しげ み
二本松 茂 美

印南町立切目小学校 教諭

《主な功績》 特殊教育・特別支援教育に長年携わり、日高地方特別支援教育の中心的役割を担ってきた。普通学級の生徒とのつながり、保護者の理解、学校職員との協力、社会福祉協議会や作業所等、他機関との連携を常に考えて実践に取り組み、その実践力と生徒への指導力には卓越したものがある。生徒一人一人の「生きる力」の育成を重視し、年間を通して体験活動・交流活動を積極的に取り入れた指導を実践してきた功績は多大である。

たか き ひさ き
高 木 久 起

和歌山県立伊都中央高等学校 教諭

《主な功績》 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと協力した効果的・効率的なケース会議を行う校内システム、生徒の情報共有のシステムなど、定時制・通信制課程における特別支援教育推進モデル体制の構築に大きく寄与した。また、和歌山教育実践研究大会、和歌山県高等学校定時制通信制教育研究大会など様々な機会に教育実践の発表を行い、特別支援教育推進体制のモデルの普及に寄与した功績は多大である。

和歌山県教育委員会功労賞受賞者

《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に積極的に取り組み、学校保健向上に尽力した学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に表彰状を授与する。

おお おか
大 岡

いさお
功

和歌山市立加太中学校 他1校 学校薬剤師

《主な功績》 昭和60年から現在まで学校薬剤師として、生徒の健康的で安全な学習環境作りに尽力し、学校における環境衛生の向上のため、諸検査の実施や専門的指導を行い、生徒の健康保持及び増進に貢献した。また、伝染病その他の疾患予防等に向け、健康相談及び保健指導を行うなど、学校薬剤師として学校保健に尽力した功績は誠に顕著である。

かわ さき ゆき ひこ
川 崎 行 彦

和歌山市立名草小学校 学校医

《主な功績》 昭和58年から現在まで学校医として、定期健康診断、学校保健会に従事し、児童の健康管理に尽力した。また、和歌山市医師会学校医部会副会長や和歌山市医師会学校医部会評議員の役職を歴任し、学校医部会の運営に尽力するなど、和歌山市の学校保健に貢献した功績は誠に顕著である。

かな がわ りゅう いち
金 川 龍 一

海南市立内海幼稚園 他10校 学校医

《主な功績》 平成2年から現在まで、海南市立内海幼稚園をはじめ多数の学校医を務め、子供たちの健康管理、健康の保持・増進のための検診及び指導助言を積極的に行うとともに、学校（園）・家庭・学校医が一体となった子供の健康づくりの推進に大きく貢献した。また、海南医師会副会長や会長等の役職を歴任し、海南市及び海草地方における学校保健活動の充実に尽力した功績は誠に顕著である。

むね
宗

る み こ
留美子

海南市立北野上小学校 他1校 学校薬剤師

《主な功績》 平成8年から現在まで学校薬剤師として、献身的・精力的に学校保健推進のための活動を行うとともに、児童の健康管理、健康の保持・増進に尽力した。また、学校保健委員会等において、学校へ積極的に指導助言をするとともに、海南市の学校保健教育の推進のため、学校保健会議等において建設的な発言を行うなど、学校保健活動の充実に貢献した功績は誠に顕著である。

やま
山

した
下

たか
隆

ゆき
之

有田市立箕島小学校 他4校 学校医

《主な功績》 平成4年から現在まで、有田市立箕島小学校をはじめ多数の学校医を務め、定期健康診断や就学時検診等に従事し、児童生徒の健康管理及び健康教育に尽力した。また、有田市医師会理事や議長等の役職を歴任するとともに、各種委員会や研修会に積極的に参加し、児童生徒の健康管理のため学校への指導助言を行うなど、学校保健・健康教育の発展向上に貢献した功績は誠に顕著である。

り
利

こう
光

ていじろう
貞次郎

有田市立保田小学校 学校医

《主な功績》 平成10年から現在まで学校医として、児童の健康維持とその向上や学校の環境改善に大きく貢献した。また、学校保健委員会等へ積極的に参加し、児童の健康管理のため学校への指導助言を行うなど、学校保健・健康教育の充実に貢献した功績は誠に顕著である。

しお
塩

じ
路

のぶ
信

ひと
人

御坊市立藤田小学校 他2校 学校医

《主な功績》 平成2年から現在まで学校医として、子供たちの健康診断及び健康管理の指導助言を行い、児童生徒の健康保持とその向上に寄与した。また、日高医師会副会長や会長等の役職を歴任し、小児期から生活習慣病予防を進めるための健診及び改善指導の実施や、保健所管内全小中学校を対象に喫煙防止のための出前授業を行うなど、子供たちの健全な成長に取り組んだ功績は誠に顕著である。

なか しま しょう いち
中 島 彰 一

和歌山県立紀央館高等学校 学校医

《主な功績》 平成9年から現在まで学校医として、生徒の健康診断、健康管理等に努めるとともに、必要な指導及び助言を行い、生徒の健康増進に尽力した。また、学校保健安全委員会の委員として、学校保健及び学校安全全般に関し、積極的に指導助言を行うとともに、学校に対して健康教育の重要性を説くなど、学校保健の向上に貢献した功績は誠に顕著である。

えの もと よし かず
榎 本 善 收

和歌山県立日高高等学校 他4校 学校医

《主な功績》 平成3年から現在まで、多数の小学校、中学校及び高等学校の学校医を務め、健康診断等を通して、卓越した専門的知識及び学校保健に対する見識を生かし、児童生徒の健康管理に尽力した。また、保健指導において適切な助言を行い、学校における健康管理や健康教育の推進に貢献した功績は誠に顕著である。

むら かみ こう いち
村 上 浩 一

和歌山県立日高高等学校中津分校 他2校 学校医

《主な功績》 平成9年から現在まで和歌山県立日高高等学校中津分校をはじめ多数の学校医を務め、健康診断等を通して、専門的知識及び学校保健に対する見識を生かし、児童生徒の保健衛生の向上に努めた。また、保健指導において教職員に対し適切な助言や指導を行い、学校における健康管理や健康教育の推進に尽力した功績は誠に顕著である。

やま ぐち みち お
山 口 道 夫

和歌山県立みくまの支援学校 学校医

《主な功績》 平成6年から現在まで学校医として、児童生徒の健康管理や健康教育における必要な指導及び助言を献身的に行い、学校保健の充実に努めた。また、新宮市医師会理事を長年務め、新宮市の学校保健活動の充実に貢献した功績は誠に顕著である。

《社会教育部門》

社会教育活動を継続して行い、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献した方々に表彰状を授与する。

●個人の部

まつ だ もり お
松 田 盛 夫

和歌山市砂山地区公民館 館長 他

《主な功績》 平成8年に和歌山市砂山地区公民館館長に就任して以来、会議・活動において的確なアドバイスやリーダーシップを発揮するとともに、郷土に関する豊かな知識と積極的な姿勢で地区における牽引的な役割を果たし、砂山地区公民館の今日の姿を築き上げ、社会教育の発展に寄与した。また、和歌山市公民館連絡協議会理事、監事を歴任し、和歌山市全体の公民館活動に貢献するとともに、地域活動の中でもその豊かな経験と実績に基づき、社会教育活動を担う人材の育成に尽力した功績は誠に顕著である。

たけ や ひろ み
竹 家 弘 美

和歌山市婦人団体連絡協議会 副会長

《主な功績》 平成20年に和歌山市婦人団体連絡協議会の書記に就任し、平成21年から会計として、平成29年からは副会長として、和歌山市婦人団体連絡協議会の各事業の実施、運営等に尽力した。また、和歌山市婦人団体連絡協議会の役員として、和歌山県婦人団体連絡協議会の各種研修会等にも積極的に参加し、地域での婦人会活動に生かすとともに、他都市の婦人会と交流を図り情報交換を行うことで婦人会活動に役立てるなど、和歌山市の社会教育の振興に尽力した功績は誠に顕著である。

くす とみ はる
楠 富 晴

紀の川市社会教育委員会 委員長 他

《主な功績》 平成18年、紀の川市社会教育委員会委員に就任し、これからのまちづくりについて、「“学ぶ・結ぶ・育む”生涯学習のまち 紀の川市宣言についての提言」を作成するとともに、平成26年からは委員長として、生涯学習の推進に寄与した。また、地域参加のまちづくりを目標としてNPO法人紀州粉河まちづくり塾を立ち上げ、地域とのつながりの中で地域づくりに貢献するなど、紀の川市の社会教育の推進に尽力した功績は誠に顕著である。

にし だ かず よし
西 田 一 善

和歌山県ボウリング連盟 会長

《主な功績》 和歌山県ボウリング連盟の理事、副理事長、会長を歴任し、第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）に向けての選手育成に注力し、本県の競技力向上に向け、選手の指導・育成に尽力するとともに、会長として中央競技団体や行政との橋渡しを積極的に行った結果、紀の国わかやま国体でのボウリング競技を成功に導くなど、本県の天皇杯獲得に貢献した功績は大きい。また、近畿2府4県で構成される関西ボウリング連盟の副理事長に就任し、同連盟の競技力向上に尽力するなど、本県における競技力向上やボウリングの普及・発展に大きく貢献した功績は誠に顕著である。

たに ぐち ひさ お
谷 口 久 雄

和歌山県柔道連盟 顧問

《主な功績》 昭和54年から和歌山県柔道連盟の副会長、会長等の役職を歴任し、県下柔道の普及・振興に尽力した。また、平成21年には会長に就任し、和歌山県柔道連盟の充実に努め、各種全国大会を本県に誘致するとともに、円滑な運営により成功に導いた功績は大きい。さらに、第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）に向けて、選手の強化育成に取り組んだ結果、成年男子2位、成年女子3位、少年女子5位及び柔道競技男女総合第3位の獲得を果たすなど、本県の天皇杯獲得に大きく貢献し、本県における柔道の普及・振興に尽力した功績は誠に顕著である。

●団体の部

いわくらしゅうえいほうほぞんかい
岩倉流泳法保存会

会長：南川 泰秀 所在地：和歌山市

《主な功績》 岩倉流泳法は、創始以来300年以上にわたり和歌山市を中心に受け継がれる紀州徳川家ゆかりの日本泳法であり、現在、日本水泳連盟が公認する日本泳法12流派の一つとして、和歌山県を代表する古武術の一つでもある。平泳ぎ・立ち泳ぎ・水入りを基本として、水中から飛び跳ねる「跳飛術」を伝えることを流儀の特徴とし、約40種の泳法の伝承に努めている。毎年夏には、和歌山市内のプールにおいて「和歌山水練学校」を開催し、幼児から80歳代までの会員が技芸の習得に励み、模範演技の公開を行う。このほか、日本泳法大会等のイベントにも積極的に参加し、泳法の研究・公開を通して本県の伝統文化の教育普及・地域振興にも大きく貢献している。このように、同保存会の活動を通じ、地域の子供から大人まで世代を超えて伝統ある「和歌山の泳ぎ」に参加することにより、地域文化の担い手づくりや、郷土愛の涵養、地域の歴史文化を学習する機会が保たれており、本県の伝統文化の向上と発展に多大な貢献をしている功績は誠に顕著である。

《教育行政部門》

本県教育の向上に努め、地域と連携した教育の推進に貢献した市町村の教育長及び教育委員の方々に表彰状を授与する。

かき うち 前 湯浅町教育委員会 教育長
垣 内 貞

《主な功績》 平成20年に湯浅町教育委員会委員に就任し、平成21年から教育長として、すべての教育施設の耐震化や、すべての学校普通教室に空調設備の設置を行ったほか、小学校運動場の芝生化や環境に配慮した太陽光発電の設置を行うなど、教育環境整備に尽力するとともに、湯浅スポーツセンターや、なぎの里球場等スポーツ施設の改修など教育関連施設の充実にも尽力した。また、「つながろう湯浅！」を合言葉に、孤立した家庭を作らない「人と人がつながる家庭教育支援」を目指すため、子育てを担う家族を支援する「湯浅町家庭教育支援チームとらいあんぐる」の創設や、活動の取り組みに尽力するなど、湯浅町の教育行政の牽引者として、教育の充実・発展に貢献した功績は誠に顕著である。

たに もと こう じ 元 日高川町教育委員会 委員
谷 本 更 二

《主な功績》 平成17年に日高川町教育委員会委員に就任し、耐震改修工事や普通教室への空調設備導入、通学路の改善等、子供たちへの安全に配慮した学習環境の施設整備の充実に大きく貢献した。また、小規模校の学習環境充実を図るため、美山3校による集合学習を実施するなど、学習内容の充実に努めた。さらに、自校給食から共同調理場(親子方式)を整備し、学校給食の環境改善に尽力するとともに、子供の読書活動の推進を図るため、各学校図書館の整備・改善や学校司書の配置による各学校図書館環境の充実に尽力するなど、日高川町の教育振興に貢献した功績は誠に顕著である。

なか むら くに お 前 田辺市教育委員会 教育長
中 村 久仁生

《主な功績》 平成18年に田辺市教育委員会教育長に就任し、地域社会全体で子供を育てる「学社融合」の取り組みとして、学校と公民館が連携・協力した体制を構築するなど、それぞれの地域の特色を活かした取り組みを展開し、学校教育の充実、地域の教育力の向上に貢献した。また、図書館と歴史民俗資料館の複合文化施設建設を推進し、市民の文化生活の向上に尽力するとともに、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の追加登録を進め、地域文化の振興・発展に努めるなど、田辺市の教育振興に貢献した功績は誠に顕著である。

さか もと よね お
坂 本 米 男

元 古座川町教育委員会 委員長

《主な功績》 平成20年に古座川町教育委員会委員に就任し、平成21年からは委員長として、高い教育識見、指導力、深い洞察力をもって、古座川町教育の活性化と発展に大いに寄与し、教育委員会の運営に貢献した。また、0歳から15歳までの一貫した教育を行うための「子ども教育15年プラン」の策定に寄与するとともに、古座川町史(全4巻)の編纂事業、古座川町立小中学校の校歌CD・DVD製作事業、古座川町の民話編纂事業に尽力するなど、古座川町教育の発展・推進に貢献した功績は誠に顕著である。

きのくに教育賞受賞者

本県学校教育において、特に優れた教育実践を行い成果を上げていると認められる教職員の方々に表彰状を授与する。

《小学校の部》

さこ ぐち なお み
嶠 口 尚 美

田辺市立田辺第一小学校 教諭

《主な功績》 国語科において、言語活動の充実を図る取組を推進し、児童の国語力の育成に努めている。また、綿密に計画された板書は、児童の思考過程が見られるノート作りにつなげるよう工夫されている。これらの実践は、優れた取組として国語教育の研究書籍に掲載された。県教育委員会が作成した「平成28年度主体的・協働的な学びを創る授業事例集【国語編】」の作成協力者として、実践事例を提供するなど、県内の国語科の授業改善推進に寄与した。研究主任として、よりよい学級づくりや授業づくりをめざして研究を推進している。情熱と責任感を持って職務に専念する姿は、他の教職員の模範となり、学校全体の教育活動を牽引している。平成27～30年度の県指導委員を務め、研究授業等において指導助言を行っている。また、授業づくりについて、校内外の中堅・若手教員からの相談に応じる等、地域における指導力向上に貢献している。

やぶ もと あゆみ
藪 本 安有美

和歌山市立貴志南小学校 教諭

《主な功績》 児童の発達や障害を的確に把握し、ユニバーサルデザインの視点を取り入れながら児童一人一人に応じたきめ細かな指導を行っている。また、特別支援学校と連携を密に図りながら、児童の着実な成長を支援している。特別支援学級に在籍する児童全員の状態をきめ細かく把握し、個に応じた支援のポイントを各担任に助言するなど、所属校の特別支援教育の中心的存在であり、保護者や教職員からの信頼も厚い。平成28年度から2年間、現職教育主任を務め、所属校の学力の課題を把握した上で、書くこと・聞くことについて学年に応じた目標を掲げるとともに、書くことを苦手とする児童に対しては、視写テストの実施や、ノートの書き方をそろえるなどの取組を実施することで、学校全体の児童の学力向上に寄与した。所属校の研究実践をまとめた教育論文「豊かな学力の充実をめざして」の執筆の中心的役割を担い、和歌山市立教育研究所主催の平成29年度教育論文において優秀賞〈学校の部〉を受賞した。

《主な功績》 個々の児童に応じた教育を長期的な視野のもと、的確に粘り強く行うことで、一人一人の力を確実に伸ばしている。また、専門的な知見とこれまでの実践に基づいた的確な相談と対応により、児童や保護者、地域から信頼されている。

所属校では、特別支援学校勤務で得た専門性を発揮し、特別支援教育コーディネーターとして、学校の支援体制づくりを中心に進めるとともに、校内研修や授業公開を積極的に行い、学校の特別支援教育を牽引している。

平成24年度から県の教育相談等早期支援における巡回相談員を務め、所属校だけでなく町内外の学校へも巡回指導に訪れて相談にのるなど、有田地方全体の特別支援教育の充実に寄与している。

有田地方特別支援教育研究会事務局を担当し、部内新聞の作成配布、授業の公開、研修会での講師など、精力的に活動し、地域全体の特別支援教育の充実に貢献している。また、平成29年度第54回近畿特別支援教育連絡協議会兵庫県大会において、自立活動についての提案発表を行うなど、実践成果を広く普及している。

《中学校の部》

《主な功績》 国語科において、協働学習の手法を用い、生徒が主体的に考える活動になるよう工夫している。生徒に表現させることで考えを整理させ、より深い学びにつながるような指導方法を実践している。また、個々の学習状況の把握ときめ細かな指導により、生徒の国語力を育成している。

平成27年度和歌山教育実践研究大会で「『書く』活動を通して、表現を高める授業を求めて」というテーマで授業を提案するなど、自身が積み上げてきた教育技術を伝達し、県内の国語教育の向上に大きく寄与した。

生徒が達成感を得られる機会を多く設定し、「心の輪を広げる体験作文」や「全日本中学生人権作文コンテスト」等のコンテストで、多くの生徒作品が優秀な賞を獲得している。

学年主任としてリーダーシップを発揮し、学級活動や総合的な学習の時間においても言語能力の向上が図れるよう学年全体の取組を進めている。何事にも前向きに取り組み、新しいことに挑戦する姿勢は教職員の模範となり、保護者や生徒からの信頼も厚い。

《高等学校・特別支援学校の部》

もち づき しん ごと
望 月 信 吾

和歌山県立みくまの支援学校 教諭

《主な功績》 県教育委員会が平成27年2月に刊行した「肢体不自由教育ハンドブック」の作成委員として、肢体不自由教育に係る専門的な知識や技能を生かし、ハンドブックの内容構成の検討とその執筆に尽力した。また、その後も、同ハンドブックを活用した校内研修の機会を積極的に設け、肢体不自由教育に対する教職員の専門性向上に寄与している。

県教育委員会から特別支援教育コーディネーターとして任命を受け、東牟婁地域の小・中・高等学校に加え、重度・重複障害児を教育する他の特別支援学校からの相談依頼に積極的に対応している。

小・中学校教員を対象とした研修会や高校生ボランティアスクール等の機会において講師を務め、肢体不自由教育をはじめとした多岐にわたるテーマに対応できる豊富な知識と理論に裏付けられた実践から、校内外から厚い信頼を得ている。

校内では自立活動部長として、校内の自立活動担当者会の機会を通じ、自己の有する知見を他の教員に丁寧に伝えるとともに、在籍する知的障害の児童生徒に対して自立活動の視点から指導内容をとらえ、的確な解説や助言を積極的に行い、充実した授業づくりを推進する役割を担っている。

たちばな
橋

きょう こと
恭 子

和歌山県立新宮高等学校 教諭

《主な功績》 総合的な言語能力を育成するため、「話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと」の言語活動を密接に関連づけた指導を行っている。「話すこと・書くこと」の表現活動では、生徒に自分の考えをまとめさせ、一人一人に応じた表現方法で発表させるなど、創意工夫に富んだ授業を展開している。生徒の興味関心を引き出しながら言語能力を高める指導は、他の教員の模範となっている。

国語科では、指導的立場で意欲的に教材研究や授業研究に取り組んでおり、「平成19年度PISA型読解力向上のための実践指導資料集」(県教育委員会)の作成委員や平成28年度和歌山教育実践研究大会で授業者を務めるなど、本県の国語教育の発展に寄与している。

平成27年度から3年間、学年主任として同僚の悩みや不安に真摯に向き合いながら、結束力ある学年集団を築いた。また、進路指導部では、他学年にまたがって担任等の相談にのり、3年間を見通した的確な指導助言を行っている。同僚からの信頼が厚く、ミドルリーダーとして中心的な役割を果たしている。

教員として学び続けようという意識を持ち、本年度は、新たに教育相談委員会委員長として、特別な支援を必要とする生徒に対応するためのスキルを習得するため、積極的に研修会に参加し、ケース会議等を牽引している。

もり さだ まさ はる
森 貞 昌 春

和歌山県立星林高等学校 教諭

《主な功績》 音楽の高い専門性を生かし、学習内容、学習方法等を常に創意工夫するなど授業の研究を熱心に行い、実践をしている。平成22年度から6年間、教科の指導委員を務め、授業研究会等で指導助言を行うなど、他の教員の指導力向上に貢献している。

同校吹奏楽部における取組として、自主的に行動できる部員の育成を目指し、部員一人一人に手帳を持たせ、自身の目標や計画、予定等を書かせるとともに、日々振り返らせる取組を行っている。こうした指導の効果は大きく、今では学校全体の取組にまで広がっている。

吹奏楽部の校外における活動として、近隣の小中学校の夏祭りでの演奏や、小学生を対象とした楽器体験教室の開催など、児童生徒が音楽に触れ成長する機会を意欲的に提供している。また、地域で開催される各種式典や災害等に係るチャリティーコンサートなどにも積極的に参加し、地域との連携・協働に取り組んでいる。

2015年紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会における式典音楽隊の指揮や、同年開催の全国高等学校総合体育大会総合開会式のマーチングバンドにおける指揮を担当し、参加した生徒をよく束ね、大会の成功に大きく貢献した。また、年間100日の休養日を設けながらも、同校吹奏楽部を、吹奏楽コンクール、マーチングコンテスト、アンサンブルコンテストの3部門全てにおいて、平成25年度から5年連続で県代表に導くなど功績を残している。

おお さわ とも き
大 沢 共 基

和歌山県立和歌山さくら支援学校 教諭

《主な功績》 生徒の自立と社会参加を推進するために、平成24年度の県立和歌山さくら支援学校の開校時に設立された、「さくらフェローの会」のさらなる充実に尽力している。生徒と一般企業の方々が話し合う「さくらフェローの会座談会」を企画するなどし、生徒の勤労意欲や態度の醸成を図るとともに、企業の方々の障害者理解の推進に寄与している。

県立和歌山さくら支援学校開校当初から進路指導部長を務め、教員のよき相談役であるとともに、学校運営の中心的な存在として活躍している。また、個々の生徒に応じた進路指導の実績により、就労支援機関や保護者からの信頼も厚い。

県教育委員会主催の県立学校進路指導部長会議において、特別支援学校における進路指導の取組をテーマとした発表を行い、二次的障害の様相を呈している生徒に対する個々の特性に応じた指導や、就労支援機関との連携を重視した進路指導の普及に努めた。

進路指導部長として、高等部生徒だけではなく、中学部生徒に対して行う勤労観や職業観を育成するための授業実践に関わる等、一貫したキャリア教育の充実に貢献している。

《団体の部》

いなみちょうりついなはらちゅうがっこう
印南町立稲原中学校

校長：保田 勉

《主な功績》 平成17年度から始まった「稲中農業」では、JA、保護者、地域の方の協力を得ながら、借り受けている田や水路の整備から籾まき、田植え、稲刈り、脱穀、冬野菜作りを生徒自身の手で実施している。試行錯誤を重ねながら共同で作業することにより、協力することの素晴らしさと収穫の喜び等を生徒に体感させ、自己肯定感を向上させている。

年間を通じた取組の中で、収穫したもち米を用いた地域住民との餅つき大会、収穫物を独居高齢者宅等に手紙とともに届ける活動等を取り入れ、地域への帰属意識や社会参加意識の育成を図っている。

14年間に渡って現在も継続されている学校の取組は、地域の活性化にもつながると地域の方からも認められており、学校が地域コミュニティの拠点としての役割を果たすことに寄与している。

和歌山県農業教育賞最優秀賞（2回：平成20・23年度）や、ふるさとわかやま学習大賞（2回：平成21・25年度）、同奨励賞（4回：平成24・26・28・29年度）を受賞するなど、積極的に取組の成果を県内に普及している。

わかやまけんりつきい しえんがっこう
和歌山県立紀伊コスモス支援学校

校長：中野 卓哉

《主な功績》 特別支援学校におけるキャリア教育について、小学部から高等部における具体的目標を系統的にまとめるとともに、学校でつきたい力を、障害の重い子供の具体的な状況を想定しながら整理し、具体の目標として示した。平成29年度には、「第11回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」を受賞した。

キャリア教育に係る情報の発信、家庭での手伝いや役割分担の奨励等、保護者とともにキャリア教育を展開している。個別の指導計画には、子供たちのキャリア発達を支える具体的な目標や支援内容を記載する欄を設け、家庭訪問等の機会を捉えて、保護者と共有を図っている。

地域・産業界等と連携した受注や生産、販売等、常に「本物」を意識した作業学習の取組を展開している。定期的に近隣の小売店や事業所で販売活動を行い、地域に根付いた活動を継続的に展開している。

校内技能検定（清掃部門、喫茶部門）の実施や学校運営協議会における「キャリア教育支援部会（職業教育やキャリア教育の推進に係る学校の取組を支援する）」の創設等、これまでの実績にとどまらず、職業教育・キャリア教育の一層の充実に向けた取組を推進している。

きのくに教育の匠受賞者

きのくに教育賞受賞者のうち、特に継続的な実践で成果を上げ、かつ、他の教員の指導力向上に寄与した方に対して称号を与える。

《小学校の部》

こ ばやし わ か
小 林 和 歌

和歌山市立雑賀小学校 教頭

《主な功績》 地域との連携を密にし、生活科、社会科及び総合的な学習の時間における魅力的な地域教材の開発によって、児童の問題意識を高め、主体的に問題を解決する授業の充実に寄与するとともに、各種研究大会における実践発表や優れた実践事例の執筆活動を通して、広く研究成果を普及した。

児童の学習意欲を高めたり、考えを広げたりすることができるよう、教材を工夫するとともに、ICTの活用やノート指導などを充実させ、効果的な指導方法の工夫改善に取り組んだ。

積極的な授業提案や県外研修の内容を共有するなどし、教職員の意思統一を図りながら研究を推進するとともに、校内での積極的な授業公開を通して、若手教員のみならず全教員の指導力向上に寄与した。

本年度は同校で教頭に昇任し、各教員の指導状況や子供の学習状況を的確に把握し、授業づくりのアドバイスを丁寧に根気強く行っており、教員からの信頼は厚い。

い づつ す み
井 筒 寿 美

海南市立大野小学校 教諭

《主な功績》 平成30年1月の海草地方小学校国語教育研究会において授業を公開するとともに、「主体的・対話的で深い学びのある国語科授業の創造」をテーマとしたパネルディスカッションでパネラーとなり、現在求められている授業づくりの工夫について分かりやすく解説し、その啓発に努めた。

国語科をはじめとした、幅広い知識と経験を基にした指導技術は、若手教員だけでなく、ベテラン教員に対しても模範となり、指導方法の工夫改善に寄与した。

図書資料を教室や廊下に展示したり、学びを振り返ることができるように既習の重要ポイントを掲示したりするなど、学習環境を整えることにより、児童の主体的な学習を生み出している。このような姿勢が学校全体に広がり、児童の主体的な学びの実現、学力の向上につながっている。

現職教育主任として研究構想や計画を中心となって立案するなど、リーダーシップを発揮するとともに、他地域の教員と実践交流を行うなど、地域の教育力の向上に貢献した。

きた むら み き
北 村 美 紀

橋本市立橋本小学校 教頭

《主な功績》 前任校では、研究主任として、学校研究主題に基づいた組織的な校内研究の中心的役割を果たすとともに、「授業研究部」と「児童支援部」の取組が効果的に進むよう進行管理し、学力向上と基本的な生活習慣の確立に努めた。

学力向上においては、バックワードカリキュラムの研究を進め、長期休業中に評価を行い、修正し、実践を続けるというサイクルを確立した。また、年度末には算数科の力を見取る「応小スタンダードテスト」を作成し実施した。そこで出た課題を踏まえて次年度の研究授業を行うなど、取組の方向性を示した。

話し合いの視点を定めた協議を行うことにより研究協議が活性化するだけでなく、出された意見などを職員室に掲示し、常に意識させることで、授業改善につながる工夫をするなど、校内研究の推進に寄与した。

全学年、復習を中心とした家庭学習の習慣づけや、基本的な生活習慣の確立のための生活リズムチェック表の修正、異学年児童による「縦割り遊び」や縦割りスポーツ大会の実施などを通して、教員の組織として取り組む力を高めることに貢献した。

《中学校の部》

かしわ き かず み
柏 木 一 見

御坊市立御坊中学校 教諭

《主な功績》 日高地方の国語科教育を推進する教員として、研究授業や実践発表を積極的に行うなど、優れた教科指導力を発揮している。また、平成29年度国語科指導委員として、他校の国語科教員の指導に当たるなど、国語教育や書写教育の充実発展に貢献している。

全国学力・学習状況調査や和歌山県到達度調査の結果をいち早く分析し、課題解決に向け、授業や補充学習においてきめ細やかな指導を行い、学力向上において成果を上げている。

道徳教育では、平成27年度から3年間、「和歌山県道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の指定を受け、道徳の時間の指導と評価についての研究を中心となって行うとともに、研究授業等を率先して行うなど、道徳教育の充実に向けた取組を行っている。

現在第3学年主任として、生徒がより充実した学校生活を送れるよう職員集団をまとめ、指導に当たっている。特に若手教員の育成に力を注ぎ、リーダーシップを発揮しながら学級・学年経営の指導・実践に尽力している。

《主な功績》 所属校の研究主題「わかる授業の創造」のもと、生徒の学力向上をめざす校内の学力推進委員としてリーダーシップを発揮するとともに、他の教職員の模範となり、学校教育活動を牽引している。

国語科の指導における「めあて」「自分の考えを書く」「振り返り」を明確に示した授業形態を確立し、生徒が自分の成長を実感できる授業を実践している。平成23年度・30年度には、県指導委員を務め、授業研究会等で指導助言を行い、地域における国語科の指導力向上に寄与した。

平成29年度・30年度白浜町教育委員会研究指定校の国語部会講師として、町内の2校において指導案や授業の進め方等に関して適切な指導助言を行い、授業力向上に大きく貢献している。また、平成28年度、県教育委員会が作成した「きいちゃんと学ぶ！国語マスター問題集1年生」の協力者として、生徒の語彙力・読解力向上に寄与した。

学級担任・学年主任としての力量は卓越しており、学校の中心的な役割を果たし、生徒、保護者、地域からの信頼も厚い。

《高等学校・特別支援学校の部》

《主な功績》 県内で初めて複数の障害（知的障害、肢体不自由）に対応する学校として開校したきのかわ支援学校において、開校当初から、栄養バランスや安全に食べられる食物形態、アレルギー対応等、障害特性や個々のニーズに応じた給食の提供に尽力するとともに、本年度より主査栄養士から栄養教諭となり、食育推進に貢献している。

給食メニューの開発に意欲的に取り組み、特に地域で収穫される食材を活用したメニューを多数提供している。平成27・28年度に、地産地消給食等メニューコンテストにおいて、近畿農政局長賞を2年連続で受賞し、全国学校給食甲子園において、平成29年度から2年連続で第1次・第2次予選審査を通過し、県代表に選ばれた。

避難訓練の際に、学校で備蓄品として保管している非常食や保存食等の食料品を有効活用し、災害時を想定した給食を児童生徒に提供するとともに、保護者に対しても給食日より等で情報発信を行っている。ガス釜や缶詰、乾物の利用等、災害対策の参考になる取組として、保護者から高い評価を得ている。

地域の生産者や栄養士を含む関係者との連絡会議において、給食での使用が可能な食材の情報を収集して献立の決定に生かすとともに、生産者の農園に直接出向き、生産者の思い等見聞きしたことを写真を交えながら児童生徒に伝え、食を通じた地域の理解促進や食文化への関心を引き出す取組を行っている。